



平成22年9月28日

各 位

会 社 名 芝浦メカトロニクス株式会社

代表者名 取締役社長 南 健治

(コード番号 6590 東証第1部)

問合せ先 常務取締役 経営管理部長

五十嵐 和彦

(TEL 045-897-2425)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成22年7月27日に公表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成23年3月期 連結業績予想数値の修正

(1) 第2四半期連結累計期間 (平成22年4月1日～平成22年9月30日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	25,000	700	700	600	12円14銭
今回修正予想 (B)	23,500	110	50	△170	△3円44銭
増減額 (B-A)	△1,500	△590	△650	△770	—
増減率 (%)	△6.0	△84.3	△92.9	—	—
(ご参考) 前第2四半期実績	17,852	△2,055	△1,910	△1,877	△37円99銭

(2) 通期 (平成22年4月1日～平成23年3月31日)

(単位：百万円、%)

	売 上 高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	55,000	2,200	2,200	2,000	40円47銭
今回修正予想 (B)	50,000	860	800	450	9円11銭
増減額 (B-A)	△5,000	△1,340	△1,400	△1,550	—
増減率 (%)	△9.1	△60.9	△63.6	△77.5	—
(ご参考) 前期実績	41,095	△1,869	△1,611	△1,752	△35円47銭

2. 修正の理由

当社グループの事業環境は、FPD、半導体、電池業界において、液晶テレビ、携帯情報端末、二次電池など最終製品の需要増加を受け、各メーカーの設備投資は一部時期ずれがあるものの、堅調に推移するものと予想されます。

一方、円高、ウォン安傾向による価格競争激化の影響のため製品販売価格が下落し、当期は受注、売上、採算面で厳しい状況が見込まれています。

このような状況のもと、コスト構造改革にて利益率の改善と固定費の削減に取り組んでまいりましたが、売上高および利益が前回予想を下回る見込みとなりましたので、第2四半期連結累計期間および通期の業績予想を修正いたします。

(注) 業績見通しに関する記載内容は、当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は、今後の様々な要因によって異なる可能性があります。

以 上